

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	JDLA Deep Learning for GENERAL対策授業		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	後期	教室名	301教室
担 当 教 員	吉田 研一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人工知能の技術の1つであるディープラーニングに関する試験JDLA Deep Learning for GENERAL(G検定)に合格し、人工知能に対する知識と技術を伸長を図る						
《成績評価の方法と基準》						
試験・課題 70％ 出席 20％ 平常 10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
深層学習教科書 ディープラーニング G検定(ジェネラリスト検定)公式テキスト						
《授業外における学習方法》						
試験テキストをよく読み、何度も反復勉強すること						
《履修に当たっての留意点》						
JDLA Deep Learning for GENERAL(G検定)は試験時期が固定されていないため、自ら受験計画を立てて勉学に励むこと						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	検定試験の詳細が把握できる。		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	JDLA Deep Learning for GENERAL(G検定)ガイダンス シラバス・問題傾向の説明			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識① 第1章AIとは			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識② 第2章 2-1.探索・推論 2-2.知識表現			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識③ 第2章 2-3.機械学習・深層学習			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識④ 第3章 機械学習の具体的手法①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	人工知能に関する知識⑤ 第3章 機械学習の具体的手法②		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	ディープラーニング① 第4章 ディープラーニングの概要①		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	ディープラーニング② 第4章 ディープラーニングの概要②		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	ディープラーニング③ 第5章 ディープラーニングの要素技術①		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	ディープラーニング④ 第5章 ディープラーニングの要素技術②		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	ディープラーニング実装① 第6章ディープラーニングの応用例①		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	ディープラーニング実装② 第6章ディープラーニングの応用例②		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	状況に応じた適切な人工知能の活用① 第7章AIの社会実装に向けて		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	テキストに沿って技術の理解と知識の定着ができる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	状況に応じた適切な人工知能の活用② 第8章AIの法律と倫理		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬テストで試験に備える これまで学んだことを総ざらいし把握できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	試験形式の説明 模擬テスト		